



shaping tomorrow with you

# FUJITSU Software

システムウォーカー フォー イーアールピー

## Systemwalker for ERP

パッケージ ジョブ連携

V16.0.0 機能ご紹介

2018年2月

富士通株式会社

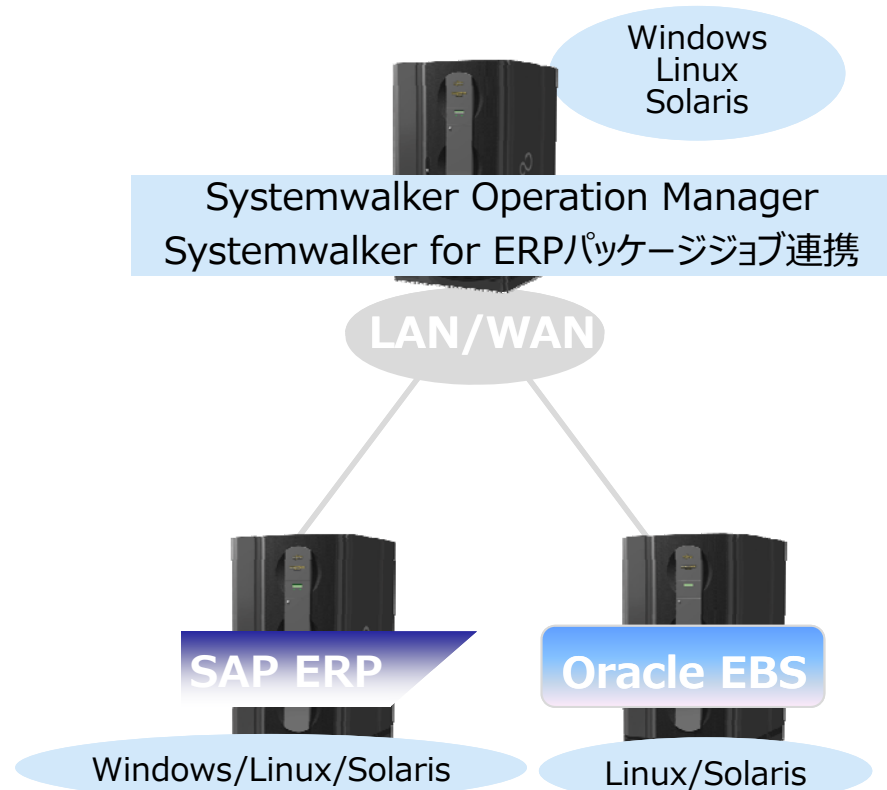
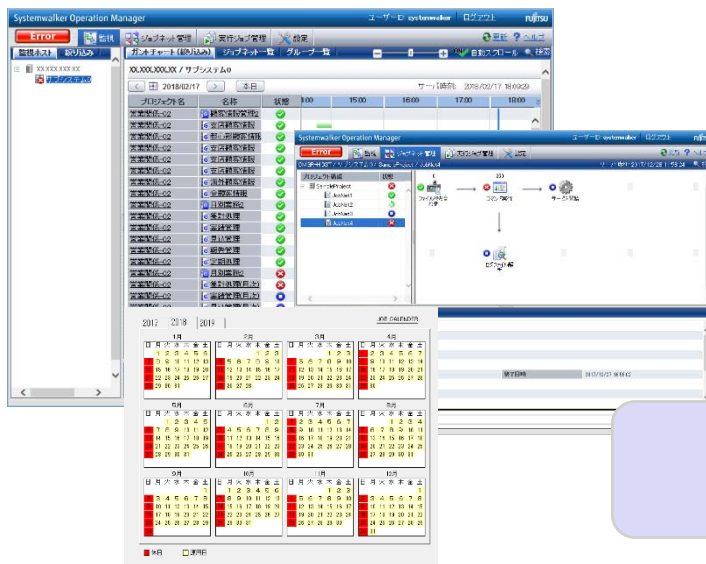
- Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携の機能
- 豊富なスケジュール機能
- ビジュアルな監視画面
- 異常検出
- バッチプログラム制御
- 認証情報管理

# Systemwalker for ERPパッケージ ジョブ連携の機能



Oracle E-Business Suiteまたは、SAP ERPの業務の自動運転を強力に支援

- 豊富なスケジュール機能
- ビジュアルな監視画面
- 異常検出
- コンカレントプログラム制御
- コンカレントプログラム起動可能ユーザーのアクセス制御
- SAP ERPジョブ起動可能ユーザーのアクセス制御



ERPジョブを含めたきめ細かいスケジューリングができます  
(休日シフト、間隔起動、特定の期間だけ変更など)

# 豊富なスケジュール機能

- 複数のカレンダー定義や豊富なスケジュール機能を利用して、複雑な業務も自動化できます。また、他の業務や他システムとシームレスに連携できます

- 複数のカレンダーを持ち、業務ごとに異なるカレンダーによる自動化ができます

- 週末、月末などの起動日指定が直感的に設定できます

- 月末処理と休日が重なった場合は、前後に任意の日数分シフトして稼働させるなど、柔軟に自動化することができます

- SAP ERPやOracle E-Business Suiteの業務以外に、一般のバッチジョブも自動化でき、SAP ERPやOracle E-Business Suiteのバッチ業務と連携することができます

- ネットワークを経由して、他のシステムのバッチ業務も自動化でき、SAP ERPやOracle E-Business Suiteのバッチ業務と連携することができます。また、他システムからのファイル受信を契機とした連携などもできます



# ビジュアルな監視画面

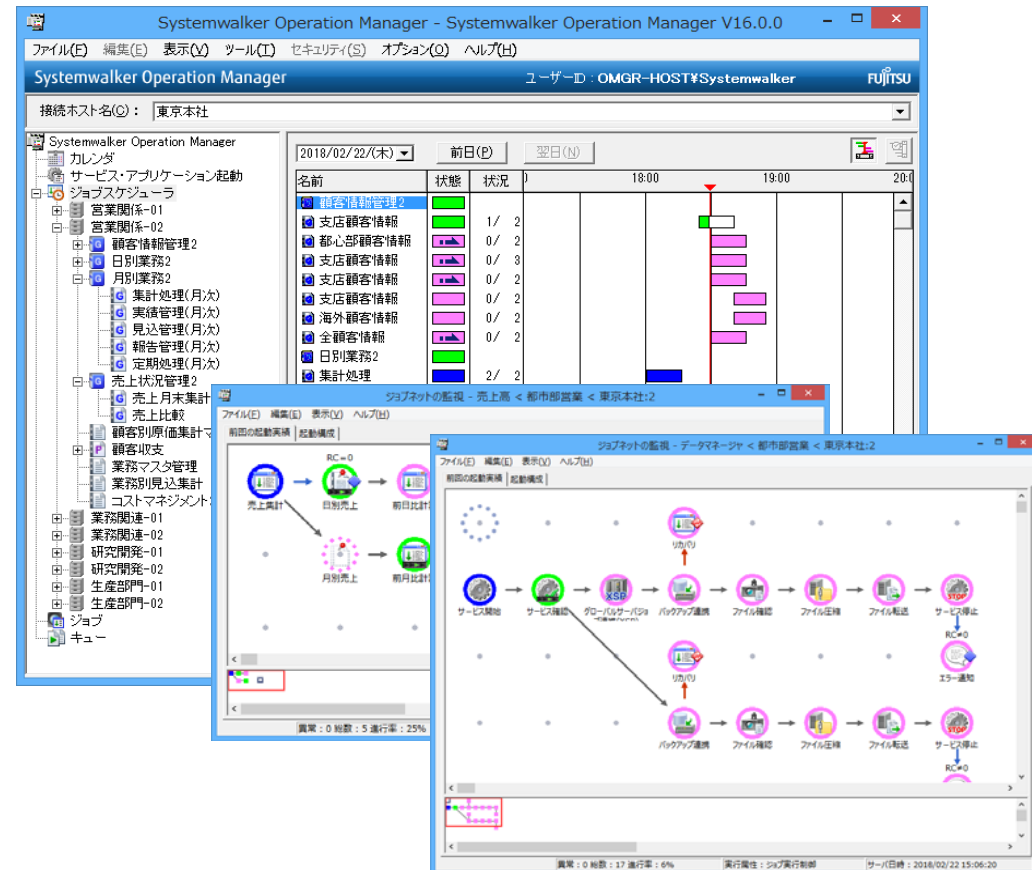
- 複数の業務をガントチャートやジョブフロー図により視覚的に状況を把握することができます

・ガントチャート表示により、時系列な処理状況を一目で把握できます

・ガントチャートは、全体の業務を対象に表示することも可能であり、トータルな業務遂行状況の把握が視覚的に確認できます

・ジョブフロー図表示により、個々の業務の詳細な処理状況を一目で把握することができます

・ネットワークで接続された複数のサーバの業務遂行状況を集中監視することができます



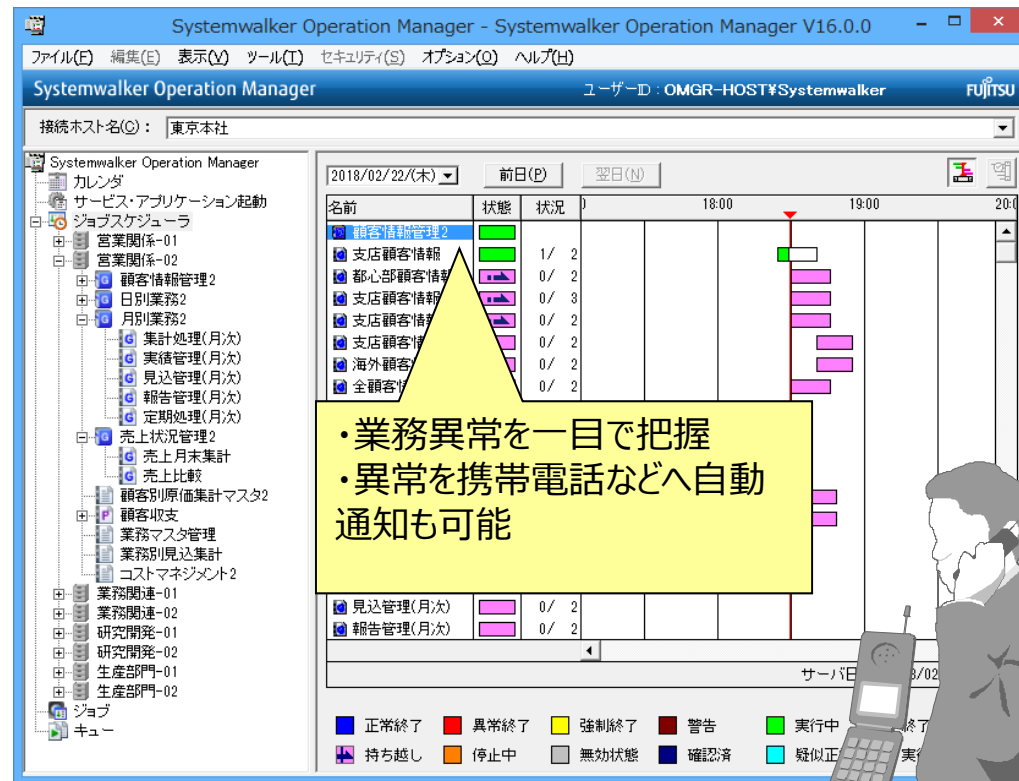
# 異常検出

- 業務の異常はビジュアルでリアルタイムに把握できます。  
また、SAP ERPやOracle E-Business Suite自身の異常も検出し、運用管理者へ自動通知します

・ガントチャートやジョブフロー図により、業務の異常をビジュアルに把握できます

・SAP ERPやOracle E-Business Suite自身の異常によりバッチ処理が実行できない状況を自動的に検出し、運用管理者へ通知します

・各種の異常事象は、Systemwalker Centric Manager と連携し、集中監視することもできます



・業務異常を一目で把握  
・異常を携帯電話などへ自動通知も可能



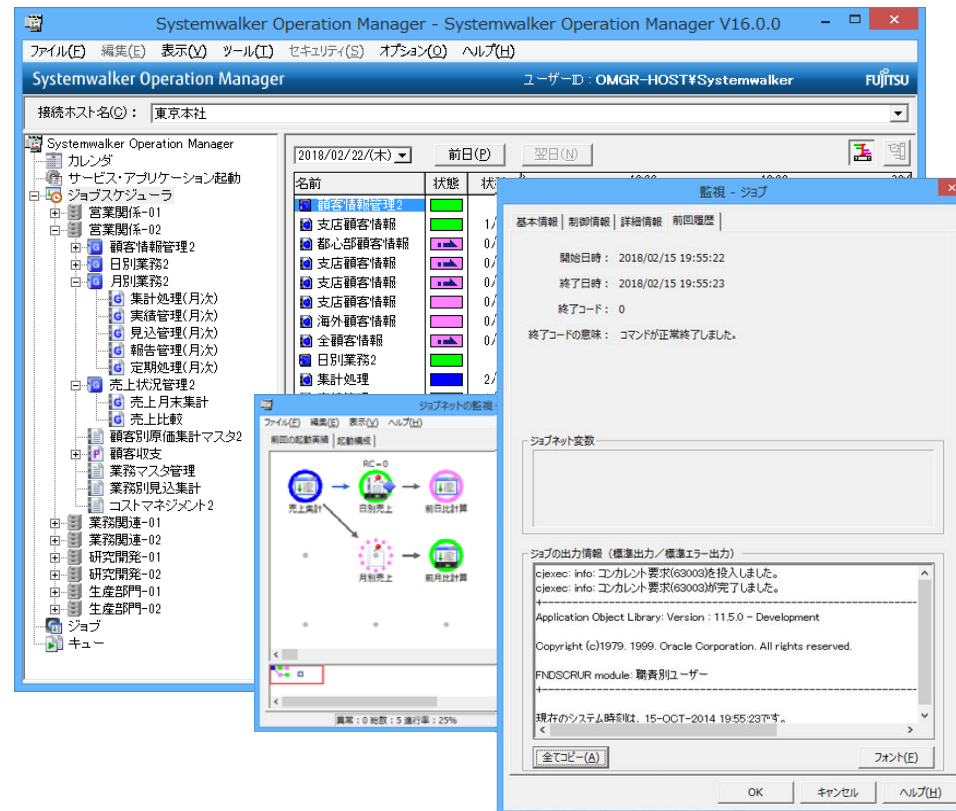
# バッチプログラム制御

- SAP ERPやOracle E-Business Suiteのバッチ処理を自動的に起動／監視でき、実行結果やログも画面で参照できます

・定義に従って、SAP ERPジョブやコンカレントプログラムを自動的に起動し、処理が終了するのを待ち合わせます

・ジョブの実行が終了すると、完了ステータスを取得し、異常終了などのステータスをSystemwalker の画面で参照できます

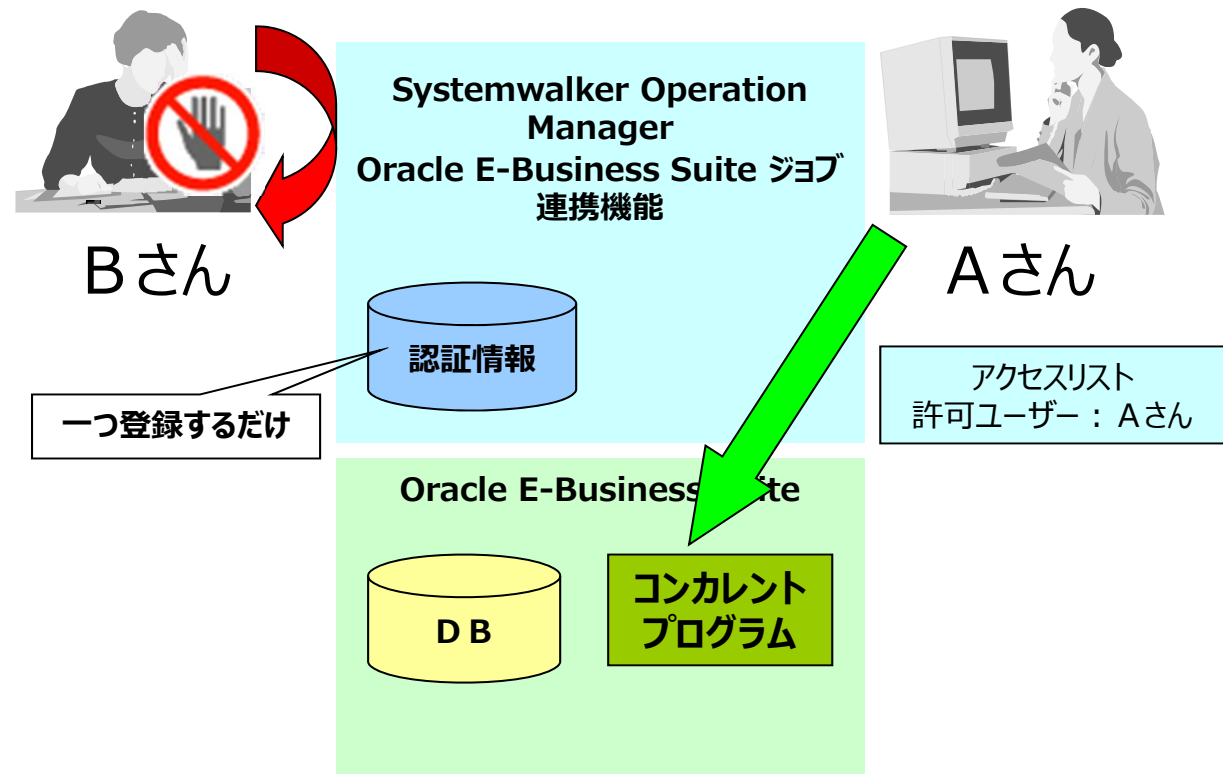
・実行ログも取得しますので、Systemwalker の画面から、実行ログを参照し、内容を確認することができます





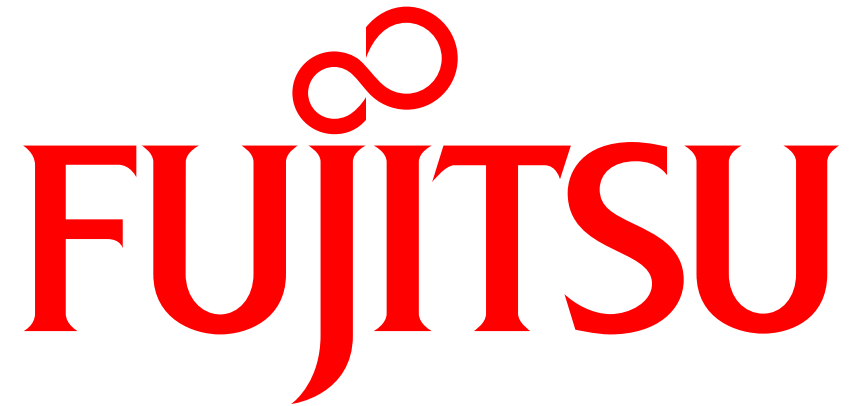
- DBアクセス認証情報の一元管理、コンカレントプログラム起動可能ユーザーのアクセス制御が行えます。

- ・DBアクセスのための認証情報をジョブごとに定義するのではなく、一元管理するため、業務構築の作業負担を軽減します
- ・誰でもコンカレントプログラムを起動できないようアクセス制御を行い、不当な起動操作などを防止します





- HP-UXは、Hewlett-Packard社の商標です。
- IBMおよびAIXは、IBM Corp.の商標です。
- ITILは、英国およびその他の国における英国政府OGC(Office of Government Commerce)の登録商標または商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、および Windows Serverは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Oracle Solaris はSolaris , Solaris Operating System , Solaris OSと記載することがあります。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- Red Hatは、米国およびそのほかの国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。
- UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
- VMware、VMwareロゴは、VMware, Incの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SAP ERPおよびSAPは、SAP AGの登録商標です。
- 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- 会社名、製品名等の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。
- その他、本資料に記載されている会社名、システム名、製品名等には必ずしも商標表示 (TM・®) を付記していません。



shaping tomorrow with you